

PICK UP!

氷見海鮮丼MAP

氷見市は富山県の北西部に位置し、ブリや氷見牛、藤子不二雄[®]の出身地として、また、富山湾越しに立山連邦が望める美しい景観でも知られています。しかし年々、人口が減少し、高齢化が進んでいます。そんな氷見に、学生や若者を呼び込みたいという氷見市出身のCOCOSメンバー1人の思いから、氷見の魅力を発信できないかと考え、地元の人を使った海鮮丼マップ作りに挑戦しました。

まず、市への企画の提案の後、地域おこし協力隊の皆さんに飲食店の方々の連絡支援を仰ぎ、店舗に出向き、協賛の依頼を行いました。依頼の結果、9店舗が協賛してくださり、各店への取材を行いました。取材を通して、店舗ごとに、海鮮丼の内容やこだわりの特色があり、どの店舗も氷見の食材を使った美味しい海鮮丼を提供していることが分かりました。

次にマップの作成に取り掛かり

このマップは4月の初めに富山県内の大学や氷見市内の観光施設、飲食店に配布しました。マップにはお店の情報はもちろん、割引サービスやスタンプラリーもついていますので、ぜひ手に取ってMAPを片手に氷見を訪れ、美味しい海鮮丼を堪能してください。また、この機会に海鮮



ましたが、デザインは富山大学芸術化学部でフリーペーパーの作成を行っている「G MODE(ジーモード)」の協力を得ました。半年間をかけ、試行錯誤の結果、海鮮丼マップが完成しました。

地域協働研究会COCOS



井以外の氷見の魅力にも触れて欲しいと思います。この活動は、TVや新聞にも取り上げられました。



地域協働研究会COCOS(ココス)とは？

COCOSは2014年4月に結成した学生団体です。COCOSはCOC(Center of Community)とOS(オペレーティングシステム)の略称で、工学を学ぶ学生の視点から、地域と共に考え、活動する取り組みを行っています。また、COCOSには、地域が抱えている問題を地域の方々と対話する中で探り出し、そしてその解決に向けどうすればよいかを考え、行動する理念があります。富山県立大学のCCMというサークルや、富山大学、国際大学など様々な大学団体と協働した活動も行っています。

さらに、学内では、成果発表会の運営や、COC事業を行っているゼミで先生のお手伝いをするCOCTA(COC Teaching Assistant)も行っています。

[CONTENTS]

■ピックアップ！	2
■H30COC活動報告	7
■H30地域協働授業成果発表会	8
■H30地域志向教育研究学生自主プロジェクト	9
■地域協働研究会COCOS	10
	12
	面
	面
	面
	面
	面

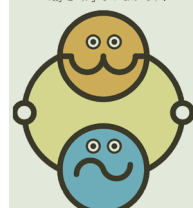
富山県立大学

COCnews

Vol.8

文部科学省
地(知)の拠点
Center of Community

地域と県大。
「地」と「知」でつながろう！



スィー知オン！
富山県立大学COC事業

平成30年度C O C 活動報告

学生提案による 三日市商店街活性化

星川・中村プレゼン演習
榎原・濱トピックゼミ

富山県の「大学生による商店街課題解決事業」として、黒部市三日市商店街の方々と本学4つのゼミが協働し、商店街活性化に向けた取組を行いました。まず始めに、商店街の方々と意見交換を行い、課題の整理を行いました。「利用客(特に若者)が少ない」「空き店舗が多い」等の課題があげられました。それらの結果を基に、次の5つのプロジェクトを立ち上げ、グループ単位で取り組むこととしました。①イベント出店企画②若者(高校生)の意識調査③コミュニティスペース活用策案④情報発信⑤空き店舗の実態把握。

①では、黒部の「黒」にちなんで、黒いスイーツ(黒ソフトクリームなどを地元飲食店の方々と共同開発し、地域のイベント『くろべ食堂』にて出店販売しました。②では、地元の桜井高等学校に協力いただき、高校生の三日市商店街の利用実態や要望について調査しました。その結果、高校生は商店街をほとんど利用していないこと、カフェや学習スペースなどのニーズがあることなどが分かりました。③で

は、既存のコミュニティスペース『自由空間かつて屋』を、②のアンケート結果も踏まえて高校生が利用しやすくするリノベーション案を考えました。WiFiが備わっていること、個別学習・共同作業スペースを設けることなどを提案し、実際に改装も行いました。④ではLINE@を用いた情報発信を希望する3店舗のオーナーの方に聞き取りを行い、それぞれにふさわしいデザインや掲載する情報などを提案し、LINE@の利用を開始していただきました。⑤では、空き店舗となつて2店舗のオーナーの方に店舗の実態や貸し出す際の希望について聞き取り調査をおこないました。10年ほど空き店舗となつていても電気や水道を止めずに維持されていることや、リフォーム等の資金サポートを求めていること、グループホームなど店舗以外の利用も模索していること、商店街を活気づかせる人(若い人・近隣にはないものをやろうとする人)の利用を希望していることなどがわかりました。



jizoku

大学教育における 地域連携事業を考察する

榎原トピックゼミI

地域を活性化し人口減少に歯止めをかけるために、大学の地域連携事業は何等かの寄与をすることができるといふ問題意識を持ってゼミに取り組みました。

具体的には、①事例研究②体験研究の考察を行いました。①では、高知大学と関わりがある馬路村について調べました。馬路村は、関係人口は増えたが、定住人口の増加には至っていないことが分かりました。②では、南砺市でイノシシ対策の電気柵を設置し、その効果を検討しました。②の結果として学生が得る利益と地域が得る利益が釣り合うのかという点などが課題として挙がりました。



jizoku

富山県の 生物多様性保全について

鈴木トピックゼミI



富山県のほ乳類、爬虫類、両生類、および鳥類の絶滅危惧種について富山県科学博物館とファミリーパークでその保全や展示状況を調べました。

ホクリクサンショウウオやライチョウは保全されていましたが、絶滅危惧種全体の展示数は少なく、説明も不足していました。今後、絶滅危惧種をたくさんの人に知ってもらうため、また保全のためにも、ブースの設置や、わかりやすい説明書の作成など、展示の工夫が必要だと感じました。

kore
isya

高齢者の 『低栄養』を考える

上村トピックゼミⅠ



高齢者の低栄養について、事前に自己学習をした後、調べたい点を①低栄養に関する地域の実態、知識②低栄養の予防・対策と工学アプローチの2つにまとめました。

小杉南包括センターへ訪問し実態を伺うとともに、公民館での高齢者を対象にした低栄養に関する発表・アンケートを実施しました。

その結果、低栄養の予防のためには、健康に関するセミナーなどに参加してもらうことや簡単に操作できるアプリの開発、今よりおいしく摂取できる栄養補助食品の改善が必要だと感じました。

san
gyo

三社柿

柿の地域資源有効活用

奥原・太田トピックゼミⅠ

高齢化や人口減少などの課題を抱える千し柿（三社柿）の産地、南砺市東太美地区。ここで生まれ育った鶴野宏喜さんは、この状況をなんとかしようと旧保育園舎を借りて柿の新たな活用を軸とした活動をしています。奥原・太田ゼミは、鶴野さんと協働で、様々な解決策を考えました。柿収穫時のボランティア募集・ドローンを使用した収穫負担の軽減・柿の廃棄量を削減する新たな保存方法の考案・温泉とのコラボレーション企画・HPでの情報発信など、鶴野さんとの対話を通じて提案しました。

kodo
mo

新たに課題解決型授業に 取り組む高校への支援

岩井プレゼン演習



高岡向陵高校では、生徒に大学進学への意識付けや高校大学連携授業の体験をしてもらうため、課題解決型授業を実施することになりました。

そこで、高岡向陵高校未来探求コース2年生に対して、ロボット製作を通じた高校大学連携の課題解決型授業の立案、サポートを行いました。教員から、設計に必要な3D・CAD、CAMの指導、そしてロボットの製作指導を行いました。参加した高校生からは、「ロボットを作る大変さがわかった」、「大学進学を考える良いきっかけになった」という感想を得ることができました。

jizoku

宇奈月愛本における散策 マップの作成

鈴木教養ゼミⅡ

黒部市宇奈月愛本では用水路をめぐる散策路の管理者が不足し情報発信が難しいという課題がありました。そこで、もともと愛本の自然や文化を気軽に楽しんでもらい、若者に向け知名度を向上させるため、散策マップの作成を行いました。それに伴い、宇奈月愛本を実際に訪問し、様々なスポットを巡りました。

訪問を通して、愛本橋は特異な構造のため日本三大奇橋であることや、愛本駅舎は歴史が深く趣があること、複数の神社があることなど様々な魅力を発見することができました。また、これらのスポットをマップにまとめることで魅力の再認識ができました。

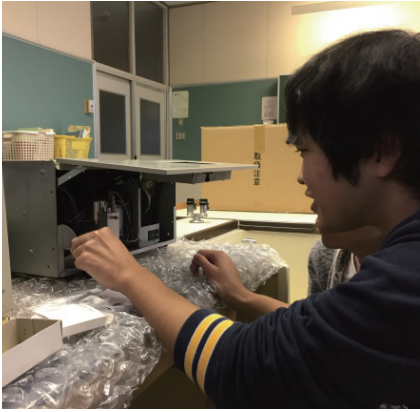


jizoku
小矢部市の山間部における
大気環境観測

渡辺専門ゼミ

近年、急速な工業化に伴う大気汚染がすすみ、東南アジアでは特に大気汚染物質の越境輸送が問題となっています。そのため、代表的な大気汚染の原因である、エアロゾル粒子、オゾン、二酸化硫黄、窒素酸化物について測定を行いました。

その結果、4月は東南アジアからの越境汚染が見られ、11月は桜島火山の噴火によるSO₂とPM_{2.5}の濃度変化がみられました。これらの結果から、これまで国内の大気汚染は越境汚染による影響が大きいと考えられてきましたが、SO₂、PM_{2.5}においては、火山活動や森林火災の影響が大きいことが分かりました。



san gyo
くすりの富山
過去、現在、そして未来

古澤教養ゼミII



江戸時代から全国で知られている伝統のある富山の薬産業の歴史と現状を調査し、将来の課題について考察を行いました。国内でも数少ない売薬資料館である金岡邸での300年の歴史を持つ富山薬売業に関する資料の調査および製薬企業での新薬開発とバイオ医薬品製造についての調査などを行いました。

これらの多岐にわたる調査を通して、富山の経済は薬産業から発展し、現在医薬品生産額では国内トップに至るなど、医薬品製造業が過去から現在まで富山の産業を支えているとことがわかりました。また、富山のくすりの伝統を生かした「富山やくぜん」が観光資源とされている

ることがわかり、ゼミでは薬膳調理実習（平野教養ゼミと合同）も行いました。現代の富山県の薬産業は、さらに未来を見据え、医薬品の製造だけではなく、新薬の開発にも貢献し、さらには、近年注目を集めている後発バイオ医薬品（バイオシミラー）に積極的に挑戦している企業があることがわかりました。

san gyo
健康で働くために産業
保健・健康経営を学ぶ

上村トピックゼミII

健康的な職場づくりや働き方の観点から企業の魅力や社会の課題を考えることを目的に、富山県内の産業保健について調査を行いました。

インターネットを用いた調査や廣貴堂へ企業訪問の結果、健康経営の重要性や利益を知ることができました。健康経営は社員が健康になることはもちろん、労働生産性の向上、企業のイメージアップや働きやすい職場づくりにも繋がるということがわかりました。学生からは、働く時間は人生の大部分を占めるため、より多くの人に知ってもらうために、自分たちも健康経営を行う企業に勤めたいという感想が出ました。

miryo ku
射水市の地域課題に
対する企画提案

小山トピックゼミII

◆企業訪問
株式会社廣貴堂

創業：1876年9月22日 従業員数：720名
事業内容：医薬品、医療機器、化粧品、健康食品の製造・販売

廣貴堂

- 平成27年に「元気やま健康づくり企業」を受賞
- 定期健康診断の受診率は100%で、有所見者には指導を徹底
- 約5キロの健康ウォーキング教室を開催し、従業員の家族の参加も可能
- こころの健康づくり（メンタルヘルス対策）に取り組んでいる
- 例）健康診断と同タイミングでストレスチェック→「うつ」を未然に防止
新入社員に先輩社員が一年間「メンター制度」を実施
- 女性の育児休暇取得率100%、男性の取得者は2名 →「くみん」獲得につながる
- 看護・介護休暇があり、被介護者一人の場合5日、2人以上で10日
- 有給休暇の取得率：63.4% →目標70%以上
- 月に60時間以上の残業で産業医との問診を行う
- 癌薬甘 春々堂 CIC店＆高岡イオン店
→「やくぜん」をカジュアルに提供

学生の意見を生かした市政推進のための「いみず学生アイデアコンテスト」に①射水市の魅力発信のためのキャラクターのノベルイズグッズを海王丸パークなどの観光地で配布する、②射水市ポスターコンテストを開催しPR用ポスターを募り、バスなどに掲示する、という2案を提示しました。

これらの提案をコンテストに応募するにあたり、地域の魅力発信の難しさを実感しました。また、射水市のことを調べ、改めて魅力を感じる事ができ、見やすいポスターを作る技術を学ぶことができました。



万葉線の利用者が減っているという現状に対して、万葉線に乗る機会をつくり、公共交通機関に対して良いイメージを持ってもらうため、1月5日に平成最後のわくわく電車を企画、実行しました。

能町小学校の1～5年生の児童15人が参加し、万葉線内で割り箸鉄砲やカラフルスライムを作ったり、一緒にお菓子を食べたり、富山県クイズを行いました。参加した小学生からは「楽しかった」という感想が得られました。

jizoku

万葉線・平成最後のわくわく電車ーを運行

小林トピックゼミⅡ

san
gyo

富山県内の電気電子分野の企業紹介

藤井トピックゼミⅡ



知能ロボット工学科は電子、情報、機械分野の研究を行っています。学生は案外、関連企業について業務内容や特色を知らないという現状がありました。そこで、知能ロボット工学科と関連のある電気電子分野の企業をよく知り、さらにキャリア意識の向上を図るため、工場見学、その内容の紹介を行いました。活動を通して、企業によつて社風が大きく異なりその違いが企業活動にも現れていることや、富山県には優れた技術力を誇る中小企業が多くあることや、シェア1位を獲得する電気電子分野の企業が多数あることが分かりました。

kore
isya

聴覚障がい者のための 会話補助とは？

寺島研 卒業研究・

プレゼン演習



聴覚障がい者のQOL向上のための課題に関するヒアリング、問題点の整理、サウンドデザインの実施、新たな会話補助のデバイスの考案を行いました。調査の結果、聴覚障がい者の方は低音や雑音が多いところでは会話が聞き取りづらいという課題が見つかり、障がいの程度に関係なく使えるデバイスを求めていることが分かりました。

これらの活動を通して、技術者がモノをつくるとき、ユーザーの『本当に必要としているもの』を聴くこと、それを低価格・高品質で永続的に提供することの2つが重要であるとわかりました。

miryo
ku

滑川市の地域問題解決事業 — 29年度の反省をもとに再挑戦 —

清水教養ゼミⅡ

54
投稿113
フォロワー113
フォロー中

広告

プロフィール...

なめりかわ・びっくりスポット

祭り・フェスティバル

富山県滑川市(Japan Toyama Namerikawa)

滑川市の美味しいグルメ、子育て支援(お母さん必見ですよ!!)、映えスポット紹介します🌟🌟🌟

学生目線で、様々な滑川市のイベントに参加し投稿していきます！ぜひ見ていってください🙏🌟
twitter.com/coc_namerikawa?s

滑川市役所から人口を増加させたいという要望をいただき、滑川の住みやすさをSNSで紹介する活動を行いました。具体的には、滑川市で行われたイベントや子育て支援などの写真と紹介文をツイッターとインスタグラムで発信しました。

その結果、女性よりも男性が見ていることや情報が市外にも伝わっていることが分かり、これらのことから土地の値段や仕事についての情報や、イベントでも男性が参加しやすいような発信を心掛けるべきだと気づきました。またジャンルごとにアカウントを分け、より情報を見やすくすべきとも気づきました。

jizoku

富山市の

SDGsを考える

中村専門ゼミ

SDGs（持続可能な開発目標）について、①富山県におけるソーラーシェアリングの可能性②富山市におけるLRT（低床式車両を活用する次世代型軌道交通システム）の利用促進について調査・考察を行いました。



①では、農地にソーラーパネルを設置して太陽光発電を行うソーラーシェアリングが全国で唯一事例がない富山県でも導入可能であるという視点から富山県と近い環境で行っている新潟の「木津みずほ生産組合」や秋田県の「アイセス井川町水田ソーラーシェアリング」に電話やメールにてソーラーシェアリングの

導入の課題について質問し調査しました。

その結果、富山県で盛んな稲作農業はソーラーシェアリングを設置しながらの農作業が行いづらく、ソーラーパネルのメンテナンスとの両立が難しいという課題があることが分かりました。他にも資金調達などいろいろ条件があり、それらの複合条件をクリアしてまでもソーラーシェアリングの導入の必要性がある判断を要すると考えられました。②では、富山市のSDGs未来都市計画が掲げるコンパクトシティ政策の一つである、LRTに着目しました。高齢者には割引制度が設けられ、利用促進が図られています。高齢者以外はそれほど利用促進が図られていないため、この世代を対象とした施策がないか考察しました。現在、路面電車がある18都市と施策を比較した結果、運行上のお知らせや公共交通優先信号を導入すること、24時台に運行することで利便性が向上し、利用者が増えるのではないかと分析しました。

kodo mo

ボードゲームを用いた理科教育

古澤トピックゼミⅡ

近年、学生の理科嫌い、理系離れという課題があり、調査の結果小学校高学年の生徒からすでに理科嫌いの兆候が見え始めることがわかりま

した。そこでこの課題を解決するために、射水市太閤山児童館で小学生高学年を対象に、近年話題となっている腸内細菌を題材としたボードゲーム『バクテロイゴ』を実施しました。

この『バクテロイゴ』は東京工業大学山田研究室の有志が腸内細菌リテラシー向上のために作製したもので、腸内細菌をキャラクター化したカードを用いて陣地を取り合う囲碁のようなボードゲームです。

腸内細菌のキャラクターごとに増殖しやすいものや、死滅しにくいもの、他の細菌に対して攻撃的なものなどカードの効果が違うため、ゲームを通してそれぞれの細菌の特徴や働きを学ぶことができます。

児童館のスタッフの方々の協力もあり、当日はたくさんのお子さんが参加してくれ、興味津々な様子でボードゲームを楽しんでくれました。成果発表会でもブースを設け、多くの大學生に『バクテロイゴ』を試みてもらうことができました。



kore isya

AI・IoT時代の 高齢者見守りセンサシステムの 現状と課題調査

佐保トピックゼミⅡ

介護施設では介護士の人数が不足状態であり、負担が大きくなっていることが問題となっています。

そこでAI、IoTを利用した高齢者見守りシステムを射水市「サービス付き高齢者住宅デイサービス雅小杉」に提案しました。提案内容は、①水位センサを使い、お風呂で高齢者が溺れたり倒れたりしていないか検知する、②重量センサをベッドに取り付け、高齢者が食事をきちんと食べているかやベッドからの転倒を検知するというものです。

試作・分析の結果、①はセンサではお風呂で溺れる前の状態では検知できないことや、②は重量センサでは体重が1グラム単位までわかってしまったためプライバシーに関わるなどの課題も浮かび上がりました。





②星空トロッコは、当日残念ながら雨だったためスライドによる星座の説明を行いました。別日程で行った黒部峡谷PR用の天体撮影は、写真が関西電力のFace bookにも掲載されました。

天文部は以下の2つのプロジェクトを実施しました。①小杉高校との高大連携プロジェクトと②黒部峡谷での「星空トロッコ」です。

①高大連携プロジェクトでは天体観測やクイズ大会、プラネタリウムを実施しました。参加した高校生からは、「今までより天体観測が楽しくなった」、「大学生と交流ができてよかった」との感想を得られました。

kodo
mo
天文部



jizoku

みどり
水土里保全研究会

水土里（みどり）保全研究会では主に地域祭りの補助、そばプロジェクト、他大学との協働活動の3つの活動を行いました。

大門風祭り、南砺市の山菜祭り、庄川木工祭りに参加させていただき、地域の魅力を再発見するとともに様々な地域の方との交流を深めました。そばプロジェクトでは栽培、収穫に加え、手打ちそばを作り富山県立大学学園祭での販売を行いました。学園祭当日は100杯以上を売り上げ大盛況でした。他大学との協働事業では世界遺産の千枚田での田植えや沖縄でのサトウキビ収穫を行い、交流を深めました。

平成30年度前期地域協働授業成果発表会

2018年7月23日、24日の2日間、本学大講義室にて平成30年度前期のCOC成果発表会を行いました。本学学生や教職員、地域関係者の方々延べ180名が参加しました。

【第1日】

- ①「富山でSDGsを考える」プレゼンテーション演習
(環境・社会基盤工学科 中村秀規講師)
- ②「学生提案による三日市商店街活性化」プレゼンテーション演習
(電子・情報工学科 / 環境・社会基盤工学科
榊原一紀准教授 / 中村正樹准教授 / 星川圭介准教授)
- ③「新たに課題解決型授業に取り組む高校への授業支援」
プレゼンテーション演習 (知能ロボット工学科 岩井学准教授)
- ④「COCOSとCOCTAについて」学生団体 (地域協働研究会 COCOS)



【第2日】

- ①「大学教育における地域連携事業を考察する」トピックゼミI
(教養教育 福原忠教授)
- ②「マイクロプラスチック問題」を知っていますか? トピックゼミI
(環境・社会基盤工学科 楠井隆史教授)
- ③「富山県の生物多様性保全について」トピックゼミI
(教養教育 鈴木浩司准教授)
- ④「高齢者の『低栄養』を考える」トピックゼミI
(教養教育 上村一貴講師)
- ⑤「三社柿：柿の地域の資源有効活用」トピックゼミI
(電子・情報工学科 奥原浩之教授 / 太田守助教)
- ⑥「黒部市三日市商店街の活性化について」一空き店舗対策とSNSによる情報発信—
トピックゼミI (教養教育 濱貴子講師)

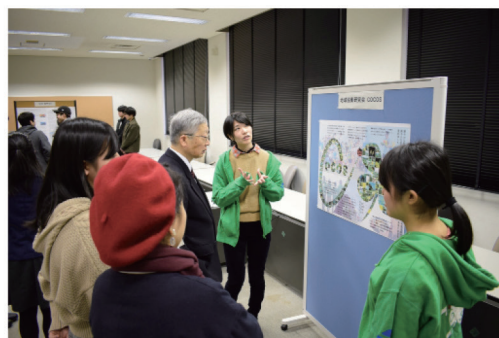


平成 30 年度後期地域協働授業成果発表会

2019 年 1 月 31 日、2 月 1 日の 2 日間、本学大講義室にて平成 30 年度後期の COC 成果発表会をポスターセッション形式で行いました。本学学生や教職員、地域関係者の方々延べ 400 名が参加しました。

【第 1 日】

- ①「滑川市の地域問題解決事業—29 年度の反省をもとに再挑戦—」教養ゼミⅡ(教養教育 清水義彦准教授)
- ②「くすりの富山 ～過去、現在、そして未来～」教養ゼミⅡ(教養教育 古澤之裕講師)
- ③「宇奈月愛本における散策マップの作成」教養ゼミⅡ(教養教育 鈴木浩司准教授)
- ④「新たに課題解決型授業に取り組む高校への授業支援」
専門ゼミ (知能ロボット工学科 岩井学准教授)
- ⑤「小矢部市の山間部における大気環境観測」専門ゼミ(環境・社会基盤工学科 渡辺幸一教授)
- ⑥「富山市の SDGs を考える」専門ゼミ (環境・社会基盤工学科 中村秀規講師)
- ⑦「地域協働研究会 COCOS の1年の活動」学生団体(地域協働研究会 COCOS)
- ⑧「平成 30 年度活動報告」サークル(水土里(みどり) 保全研究会)
- ⑨「星空トロッコ PR 用写真撮影」「高校生の理系離れをなくそう」サークル(天文部)



【第 2 日】

- ①「大学教育における地域連携事業を考察する」トピックゼミⅡ (教養教育 福原忠教授)
- ②「健康で働くために 産業保健・健康経営を学ぶ」トピックゼミⅡ (教養教育 上村一貴講師)
- ③「ボードゲームを用いた理科教育」トピックゼミⅡ (教養教育 古澤之裕講師)
- ④「黒部市三日市商店街の活性化」トピックゼミⅡ (教養教育 濱貴子講師)
- ⑤「黒部市三日市商店街の活性化」トピックゼミⅡ (電子・情報工学科 榊原一紀准教授)
- ⑥「富山県内の電気電子分野の企業紹介」トピックゼミⅡ (知能ロボット工学科 藤井正准教授)
- ⑦「AI・IoT 時代の高齢者見守りセンサシステムの現状と課題調査」
トピックゼミⅡ (知能ロボット工学科 佐保賢志講師)
- ⑧「万葉線 - 平成最後のわくわく電車 - を運行」
トピックゼミⅡ (機械システム工学科 小林一也准教授)
- ⑨「射水市の地域課題に対する企画提案」トピックゼミⅡ (医薬品工学科 小山靖人准教授)
- ⑩「聴覚障がい者のための会話補助とは？」寺島卒業研究 (機械システム工学科 黒瀧春香・後藤啓太)
- ⑪「地域協働研究会 COCOS の1年の活動」学生団体 (地域協働研究会 COCOS)
- ⑫「平成 30 年度活動報告」サークル (水土里(みどり) 保全研究会)
- ⑬「星空トロッコ PR 用写真撮影」「高校生の理系離れをなくそう」サークル (天文部)

平成30年度 地域志向 教育・研究・学生自主プロジェクト 採択一覧

本学では、学生が地域と主体的に関わり、地域課題解決や学生自身の成長が遂げられる活動を推進すべく、教員、学生による取り組みへの支援を行っています。年度初めに、教育・研究・学生自主プロジェクトの3枠で学内公募をかけ、採択します。平成30年度の採択結果は以下の通りです。

区 分	テ ー マ	代 表 教 員
地 域 志 向 教 育 プ ロ グ ラ ム	教養ゼミ・トピックゼミによる南砺市との包括連携協定事業の推進	教養教育 福原 忠 教授
	地域小学生のための英語教室（2018年度） - グローバル人材育成につながる英語教育支援 -	教養教育 山崎大介 准教授
	視覚障がい生徒のための科学イベント 「科学ヘジャンプ・イン・北陸」の実施	知能ロボット工学科 高木 昇 教授
	新たに課題解決型授業に取り組む高校への授業支援	知能ロボット工学科 岩井 学 准教授
	「プロジェクトインタラクション」設備から広がる、学内外の人々を楽しませるアート作りを通じた、学習モチベーション向上のたくらみ	電子・情報工学科 中田崇行 准教授
	南砺福野高校を対象とした学生主体による 農業環境科の体験型授業支援の実施	環境・社会基盤工学科 島 俊郎 教授
	万葉線との伝統工芸品生産を通じた地域価値向上の研究	環境・社会基盤工学科 中村秀規 講師
	環境フェアにおける「プラネタリウム工作教室」の運営	知能ロボット工学科 松本公久 准教授
地 域 志 向 研 究	テ ー マ	実 施 責 任 者
	マイクロドップラーレーダを用いた遠隔歩行計測による 高齢者の転倒リスク評価の開発	教養教育 上村一貴 講師
	能動型音響制御手法を活用した身体不自由者・高齢者の会話を 円滑にする会話補助デバイスの研究	機械システム工学科 寺島 修 講師
	画像処理技術を活用した看護教育素材の開発研究	電子・情報工学科 唐山英明 教授
	小矢部市中山間部における廃校校舎を利用した大気環境観測 - 山間部の大気環境評価と地域の安全・安心のための情報提供 -	環境・社会基盤工学科 渡辺幸一 教授
プ ロ 学 生 自 主 プ ロ ジ ェ ク ト	テ ー マ	学 生 団 体（代表者）
	TPUmarker：富山県立大学ニュースサイト 地域の魅力発掘特集	Core Creative Manager(CCM) 情報システム工学専攻博士後期課程1年 伊達伸之輔
	三井アウトレット北陸小矢部における 地域の魅力発掘戦略	地域協働研究会COCOS 電子・情報工学科3年 山崎裕貴
	星空トロッコPR用星空写真の撮影	天文部 電子・情報工学科3年 天野 駿
	高校生の理系離れをなくそう	天文部 電子・情報工学科3年 天野 駿
	地域×SDGsは。	ECSサークル 機械システム工学科4年 黒瀧春香
	高齢者との異世代交流	ECSサークル 機械システム工学科4年 黒瀧春香
	地域における環境改善と交流の促進	ECSサークル 機械システム工学科4年 黒瀧春香

地域協働研究会COCOS

TA人材育成プロジェクト

COCOSでは、活動の一環としてCOCCTA(Teaching Assistant)を提供しています。これは、地域協働授業を行うゼミにTAとして参加し、ゼミ生の話し合いの補助や先生と授業の進め方についての相談などを行う人材のことです。これまでは、活動の経験を活かしてCOCCTAとして活動してきました。しかし、メンバーの経験の差により進め方に違いが生じるという問題がありました。

そこで、全員が統一した技術や知識を得ることを目的として、7月7日、株式会社まとめる専門家の松木氏と谷内氏、Massive Actの倉谷氏を講師としてお迎えし「TA人材育成プロジェクト」を実施しました。

本プロジェクトでは主に、議論の内容を文章やイラストを使って視覚的に伝える「グラフィックコーディング」や、議論を円滑に進めるスキルの一つである「ファシリテーション」の二つのスキルについて学びました。また、各講師との議論を通じたスキルの実践ならびに質疑応答を行いました。日頃の悩みや疑問点を各人が相談しながら、活発な研修がなされました。この研修会で得たことを、今後のTA活動でどんどん活かしていきたいと思います。「関連記事11面」

ファシリテーション

in 南砺市

3月13日、南砺市平地域における、小規模多機能自治の話し合いにおいてファシリテーションを行いました。平地域では自治の仕組みが変わり、住民の方々が地域づくりを自主運営していかなければならず、住民の方々は不安を抱えているという現状があります。当日は、住民の方々の不安を少しでも解消することを話し合いの目標とし、COCOSメンバーが5つある部会のテーブルに1人ずつ入り書記兼ファシリテーションを行いました。

まず、全体進行役のメンバーが話し合いにおいてのルールを簡単に説明しました。ルールの中でも大事な2つを紹介します。1つは、「ボールを持つている人が話し、他の人はその人の話を聞くこと」です。これは、会話はキャッチボールといわれるように話し手と聞き手を把握するためです。もう1つは、「他の人の発言に『いいね』『わかる』などの相槌を打つこと」です。これは、共感することと話しやすい雰囲気を作るためです。次に、今日の夜ご飯の話をするなどして、アイスブレイクをしました。

これらにより、話し合いは和気あいあいとした雰囲気になり、これらの活動についての不安や悩みを部会内でも他の部会の方とも共有することができました。

メルヘン謎解き

in 小矢部市

富山県の魅力を富山県内外に発信することを目的に、三井アウトレットパーク北陸小矢部でウォークラリー形式のイベントを企画・運営しました。このウォークレットでは富山県に関するクイズ、小矢部市のゆるキャラであるメルギューくんとメルモちゃん・射水市のゆるキャラであるムズムズくんを題材にした着せ替えゲーム、巨大エンガの3つのクエストを用意しました。そして、これらのクエストを通して参加する方に楽しく富山県の魅力を感じてもらい、イベントの最後にはアウトレットで使えるクーポンを配布しました。イベントは3月9日、10日の2日間行い、子供から大人まで300人近い方が参加してくれました。

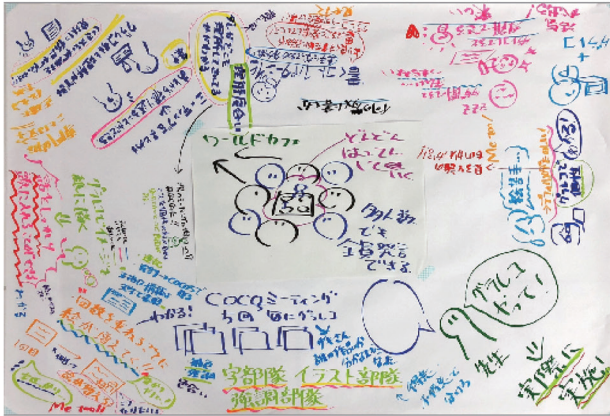


参加してくださった方のアンケートでは、「楽しかった」「難しかったけど楽しかった」と答えてくれた人が半数を超え、他にも「富山のことを知ることができた」などの感想がいただきました。



第 1 回 TA 人材育成プロジェクトレポート

平成 30 年 7 月 7 日 (計算機センター 1 階 演習室) にて



グラフィックレコーディング

グラフィックレコーディング (グラレコ) の利点はそのわかりやすさ。イラストを用いて書かれるので話し合いの内容や大切なことが **ひと目** で分かります。また、参加者による **認識のズレ** が減り、目標に向かって一体となって話し合うことができます。

円滑に話し合うために
会議内容の「見える化」



講師：谷内 千尋さん

ファシリテーション

話し合いで大切なことは、全員が**対等**に参加することです。そのための 1 つの手法として実践したのが車座 (写真②) という陣形。距離感が等しくなるため、上下関係などによる発言力の差がなくなり対等に発言できるようになります。

①松本さんの質問会



②車座の風景



相手の意見を尊重して、
否定しない話し合いを！

講師：松本 八治さん



③みんなで昼ごはん



④倉谷さんの作ったカレー

ファシリテーターは
話し合いの進行だけじゃない！

事前に話し合いの **ルール** を決める、音楽をかけるといった、誰もが意見を言いやすい **環境** を作る方法を学びました。一緒に食事をする機会をセッティングするなんてことも！(写真③)



講師：倉谷 龍孝さん



いみず祭り

2018年8月12日にグリーンパークだいもんにおいて「第4回いみず祭り」が開催されました。このお祭りは、射水青年会議所が主体となって、市民の皆さんに楽しんでもらえる祭りを射水市に作ることを目的として始まったものです。COCOSは、第1回いみず祭りの時から射水青年会議所と協働させていただいており、今年度のいみず祭りにおいてもイベントを実施することとなりました。今年度COCOSでは、「いみずトウーン」という企画を実施しました。

「いみずトウーン」とは、任天堂の大人気ゲーム「スプラトゥーン」をモチーフとした1チーム4〜5人で2チームが戦うシューティングゲームです。水鉄砲にインクを補充して、相手の着ているTシャツに自分のチームの色をどれだけ塗れるか競います。

用いたインクは、小麦粉と食紅を使って自作した物です。これらを使うことによって、人体への影響を少なくし、かつ使った場所を元の状態に戻すことができます。また、フィールドには射水市の

マスコットキャラクター「ムズムズくん」のオブジェやトンネル、壁など様々なギミック（おもしろい仕掛け）を用意しました。



当日は天候に恵まれ、子どもたちだけでなく、大人も童心に返って熱中する様子が印象的でした。この企画は、当初の想定よりも多くの参加申し込みがあり、最終的には約50人もの方々にご参加いただきました。参加者からは、楽しかったとの意見を数多く聞くことがで



き、このお祭りを盛り上げることに貢献することができました。



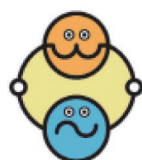
学内の
皆さまへ

COCの学生アシスタント COCTA 大募集！

地域協働授業（COCの授業）をサポートする学生アシスタント COCTA（シーオーシーティーイー）を募集中です。（10・11頁参照）

【仕事の概要】

- ①内容：地域協働授業に参加して教員や学生のサポートをしたり、授業準備や授業後の報告書類作成などを行います。
- ②時間と場所：各自の空き時間や平日 17 時～ 19 時、各ゼミの教室や地域協働支援室にて行います。



地域と県大。「地」と「知」でつながろう！

スイッチオン!

富山県立大学 COC 事業 TPU Switch On! Project

公立大学法人富山県立大学 地域協働支援室

<https://www.pu-toayam.ac.jp/coc/>

〒939-0398 富山県射水市黒河 5180

(環境工学科棟 3 階 I-333 室)

TEL:0766-56-7500 (内線 1255) FAX:0766-56-8022

E-mail:coc1@pu-toyama.ac.jp

編集：地域協働研究会 COCOS 発行：令和 元年 8 月

